

青森高等学校 探究学習ルーブリック

1年 番号 \_\_\_\_\_、 2年 番号 \_\_\_\_\_、 3年 番号 \_\_\_\_\_ 氏名 \_\_\_\_\_

学習段階	課題の設定 【思考力・判断力】	仮説立案 【思考力・判断力】	検証・情報の収集 【知識・技能・主体性】	整理・分析（考察） 【思考力・判断力】	まとめ・表現 【技能・表現力】
活用Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 検証結果を受けて、新たな問いを立てる（課題の見直しをする）ことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 検証結果を受けて、適切に仮説の見直しをすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 仮説を満足させる実験・検証・情報の収集を効果的に行うことができる。</li> <li>■ 入手した/する情報が問いの解決に有用かどうか判断できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 複数の情報を有機的に結び付けた独自の考察を展開している。</li> <li>■ 自論の妥当性を客観的に判断できる（論の不備に気づいたり、今後の研究課題を設定したりする）。</li> <li>■ 課題・仮説・検証に一貫性がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 効果的に図表等を用いて、聞き手・読み手に配慮した「説明」ができる。</li> <li>■ 質疑応答に適切に対応できる。</li> <li>■ 発表形式の変化に対応できる。</li> </ul>
自己評価①②③					
活用Ⅰ	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 発表対象と研究目的が明確で、具体的な（5W2Hの質問に耐えられる）課題を設定できる。</li> <li>■ 様々な先行事例を参照することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 次の4点を踏まえて、具体的な仮説を設定することができる。</li> <li>① 問いに適合するか</li> <li>② 意見を展開できそうか</li> <li>③ 根拠を集められそうか</li> <li>④ 実現・実施可能か</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 仮説に関連のある実験・検証方法と計画を考えることができる。</li> <li>■ 多様な情報源に自主的にアクセスできる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ある程度客観的な考察を展開できる。</li> <li>□ 論理性が弱い（データの不足や分析の甘さによる）</li> <li>□ 課題・仮説・考察の関連性に無理がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 十分な情報量と構成を持って表現できる。</li> <li>■ 発表の際は原稿の音読ではなく、「説明」ができる。</li> </ul>
自己評価①②③					
習得	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 課題の概念を理解している。</li> <li>□ 少し調べれば解決できるような問い、または漠然とした問いしか設定できない。</li> <li>□ 事実や背景の確認にとどまり（新聞・ニュースを見る等）、それ以上の問題意識・洞察がない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 仮説の概念を理解している。</li> <li>□ 漠然とした仮説（仮の答え）しか設定できない。</li> <li>□ 立てられた仮説は単なる思いつきによるものである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 初歩的な「調査や実験」ならばその方法を理解し、実施できる。</li> <li>□ 計画性がない</li> <li>□ 場当たりの情報収集を繰り返す。</li> <li>□ 調べるべき情報とその意味が理解できていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 自分なりの考察はできる。</li> <li>□ 独りよがりな考察である。</li> <li>□ 課題・仮説・検証に関連性がない。</li> <li>□ 漠然とした理想論にとどまる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ある程度であれば表現ができる。</li> <li>□ 内容が不十分である。</li> <li>□ 情報がまとまっていない（単なる情報の羅列にとどまる・ポイントが不明瞭である）</li> <li>□ 発表の際は、原稿の「音読」が主である。</li> </ul>
自己評価①②③					
未習得	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 課題の概念が理解できない。</li> <li>□ 課題（探究学習）に興味づけができない。</li> <li>□ 「テーマ」から「課題」に移行できない。</li> <li>□ 実行・実現の可能性を考慮に入れない課題を設定している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 仮説の理解がない。</li> <li>□ 仮説を立てることができない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 検証ではなく、「調べ」になっている。</li> <li>□ 課題・仮説に関係のないことを調べている。</li> <li>□ 情報源がかなり限られている。</li> <li>□ 費用（時間）対効果が低い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 考察ができない。</li> <li>□ 引用や受け売りに終始する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 探究学習の成果としての表現ができないか、できたとしても未熟である。</li> <li>□ 独自の考察や検証結果が盛り込まれていない（第三者が行った調査をそのまま、あるいは少しの加工を加えて表現するにとどまる）。</li> <li>□ 情報の出所が不明である。</li> </ul>
自己評価①②③					

条件 □は補足説明

上のルーブリック表の中から、今の自分に一番近いスキルを選び、「自己評価」欄に学年を書いてください。（例：1年生→①）

裏面に記入例があります